

言葉の単位：…大きい順に、**文章**↓**段落**↓**文**↓**文節**↓**単語**という。

文章：…文が集まって一つのまとまった内容を表したものの。

段落：…長い文章の中の、内容によるひとつのまとまり。

① **形式段落**：行を改めて、書き出しを一字下げて書いたまとまり。

② **意味段落**：形式段落を意味の上からまとめたもの。

文：…まとまった考えなどを述べたひと続きの言葉。終わりに**句点**（。）を打つ。

二次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

しばらくのち茶店を出てきしなに、巻きたばこを耳に挟んだ男は、(そのときはもう挟んでいなかったが) トロッコのそばにいる良平に新聞紙に包んだ駄菓子だかしをくれた。良平は冷淡に「ありがとう。」と言った。が、すぐに冷淡にしては、相手にすまないと思ひ直した。彼はその冷淡さを取り繕うつくろうように、包み菓子がしの一つを口へ入れた。菓子には新聞紙にあつたらしい、石油の臭いが染み付いていた。

三人はトロッコを押しながら緩い傾斜ゆるけいしゃを登っていった。良平は車に手を掛けていても、心は他のことを考えていた。

その坂を向こうへ下り切ると、また同じような茶店があつた。土工たちがその中へ入つた後、良平はトロッコに腰こしをかけながら、帰ることばかり気にしていた。茶店の前には花の咲いた梅に、西日の光が消えかかっている。

『芥川龍之介』『トロッコ』

① 右の文章はいくつの形式段落から成り立っていますか。漢数字で答えなさい。

② 右の文章はいくつの文から成り立っていますか。漢数字で答えなさい。

二次の文章を二つの段落に分けるとしたら、どこで改行しますか。二段落目の初めの五字を書きなさい。

ボクは一ヶ月前に東京からこの町に引っ越してきた。お父さんの会社が新しくこの町に工場を建て、その工場長にお父さんが選ばれたのだ。お父さんはとてもうれしそうだったし、お母さんも喜んでいた。だが、ボクはサッカーチームをやめないといけなかったし、親友のはるとや健太郎けんたろうと別れることが、もっと嫌いやだった。でも、そんな気持ちはお父さんやお母さんには言えなかった。転校して少したつたある日のこと、ボクは休み時間に一人で席に座って本を読んでいた。サッカーを一緒にする相手もいないし、一人でいるほうが気楽どなりだったからだ。しかし、そんなボクに話しかけてきたのが、隣の席ととなりに座っていた西川くんにしがわだった。西川くんは、いかにも勉強べんがくができそうなタイプに見えた。



文節 …意味の分かる範囲で文をできるだけ小さく区切った一区切りの単位。

※切れ目に「ネ」を入れることができる。

・桜が／散る／前に／花見に／行こう。

単語 …文節を区切った、言葉の最も小さな単位。

・桜がー散るー前ーにー花見ーにー行こーう。

■ 次の各文を(例)にならって文節に区切りなさい。

(例) 彼女の／母は／小学校の／先生だ。

- ① 父は毎日、朝食の前にジョギングをする。
- ② 学校から帰って、すぐにスイミングに行く。
- ③ 君が言うことはすべて聞いてあげる。
- ④ このパンはホームベーカリーで作ったパンです。
- ⑤ 校長先生が来られた時に、聞いてみよう。
- ⑥ ああ、こんなことになるなら、もっと勉強をすればよかった。
- ⑦ 今日は少し暖かいので、コートは着なくていいね。
- ⑧ 来年の花火大会は一緒に行きたいと心の中でつぶやいた。

■ 次の中で、単語の分け方の正しいものを二つ選び、記号に○をつけなさい。

ア 小さなー子どもをー連れたー女性がー来る。

イ 花ーのーつぼみーをーじっとー見つめーてーいる。

ウ それーからーいつもーのーようーにーコーヒーーをー飲んだー。

エ 歩きスマホーはーとてもー危険なー行為だからーやらないーよー。

オ 金魚ーをー飼うーのーは、ー思っーたーよりーもー大変なーことーでーある。



文節相互の関係

…文節と文節はお互いに関係している。

その関係は六種類に分けられる。

- ① 主語・述語の関係
- ② 修飾・被修飾の関係
- ③ 補助の関係
- ④ 並立の関係
- ⑤ 接続の関係
- ⑥ 独立の関係

1 主語・述語の関係

…「何が(は・も)〜何だ」「何が(は・も)〜どうする」「何が(は・も)〜ある/ない」「何が(は・も)〜どんなだ」という構成をなす関係。

主語 述語
私が 先生だ。
(何が/何だ)

主語 述語
私も 泣いた。
(何も/どうする)

主語 述語
犬は かわいい。
(何が/どんなだ)

① 次の各文の——線部の述語に対する主語を抜き出さない。

① 妹が、「私も ケーキバイキングに 行きたい」と 言った。

② 母の 生まれた 町は 大和川を 越えた あたりに ある。

③ 君こそ 私の 気持ちを わかろうと しない。

④ 学校の 図書室には マンガが 一冊も ない。

② 次の各文から主語と述語を一文節ずつさがして、主語には——線を、述語には||線をつけなさい。

① 自然は 人の 心を おだやかに します。

② 妹も 私たちと 一緒に 遊びたがった。

③ 文通を して いる 友達と、 ぼくは 初めて 電話で 話した。

④ いらぬなら 全部 食べるよ、 ぼくが。

⑤ コッペパンに 焼きそばを はさんで、 母は 焼きそばパンを 作った。

⑥ 白い リボンの 付いた 麦わら帽子を かぶった 美しい 少女が いる。

⑦ 生徒たちは みんな 教室に 避難した。

⑧ さっきまで ここに あった ぼくの 帽子が なぜか ない。



2 修飾・被修飾の関係

…上の文節が下の文節をくわしく説明する関係。
説明する働きをもつ上の文節を修飾語といひ、
説明される下の文節を被修飾語といふ。

・弟は 修飾語 とても 被修飾語 元気だ。

3 補助の関係

…下の文節がすぐ上の文節に補助的に意味をそえる関係。
下の文節を補助語、上の文節を被補助語という。
補助語はもとの言葉の意味がうすれているので、漢字は用いない。

・そのの 被補助語 ペンを 補助語 とって 補助語 ほしい。

一 次の各文の―線部が修飾する、文節に〃線をつけなさい。

① ゆっくりと 流れる 川の 水が きれいだ。

② いきなり あなたを 怒って、 驚いたでしょう。

③ そんなに 急いで あなたは どこに いこうと して いるの。

④ 私は そうっと ソファで うたた寝を して いる 父に 毛布を かけた。

⑤ かわいい 猫を 飼ったので、 家に 見に 来て くださいね。

⑥ 父と 出会ったのは、 母が 大学の 三回生の 時だ。

二 次の各文の―線部の中で、補助の関係になっているものをすべて選び、番号に○をつけなさい。

1 笑って いる 子どもの 顔は とても かわいい。

2 私の 父は 高校の 数学の 先生で ある。

3 あそこに ある おしゃれな カフェに 入ろうよ。

4 私の 描いた 絵を 見て ほしいと 先生に お願いした。

5 パソコンで 描いた 絵が 消えて しまった。

6 おながが いたいで アイスクリームは 食べないよ。



文法の基本 ⑤ 並立の関係 / 接続の関係 / 独立の関係 / 連文節

月 日
名 前

4 並立の関係 …二つ以上の文節が、対等の関係で並んでいるもの。

・ 兄は 並立語 大学生で 並立語 マンガ家だ。

5 接続の関係 (接続語) …前後の文や文節をつなぐ働きをするもの。

・ 疲れたので 接続語 休もう。 原因
・ 雨だ。 接続語 しかし、 逆接 行こう。

6 独立の関係 (独立語) …前後の文や文節との関係がうすく、独立している。

呼びかけ・応答・感動・提示などがある。

独立語(呼びかけ)

・ おはよう、朝だね。 ・ 愛、それは 永遠の テーマだ。

独立語(提示)

★ 連文節 …主語・述語・修飾語・接続語・独立語と同じ働きで、二文節以上になって

いるもの。連文節は、主部・述部・修飾部・接続部・独立部と呼ぶ。

・ 主部 私の / 修飾語 父は / 述部 エンジニアとして / 接続語 働いて / 独立部 いる。

一 次の各文の中で、並立の関係になっている文節(二文節以上)に―線をつけなさい。

① ふみちゃんの 犬は、白くて ふわふわの 毛の ポメラニアンだ。

② 父も 母も 祖母も 祖父も ぼくも、みんな とても 元気です。

③ 私が 目指して いる ものは 歌手に 女優だ。

二 次の各文の接続語に―線をつけなさい。

① 寒いから、必ず コートを 着て 出かけるように。

② ジョギングは 気分が よくなる。 それに、健康にも よい。

③ ねずみが 逃げた。 すると、猫が その あとを 追いかけた。

三 次の各文の独立語に―線をつけなさい。

① やれやれ、今日は あきらめて もう 帰ると するか。

② こら、歩きながら スマホを 見ては いけません。

③ 地球、それは 二つと ない 神秘の 星だ。



二 次の各文のうち、文節に正しく区切られているものにはA、単語に正しく区切られているものにはB、どちらにもあてはまらないものにはCを書きなさい。

- ① 電車に／乗って／いると、／だんだん／ねむく／なって／きた。
- ② 私／の／将来／の／夢／は／保育士／に／なる／こと／です。
- ③ どんなに／辛くても／自分を／信じて／頑張れば／必ず／道は／開ける。
- ④ わか／ら／ない／こと／が／あれ／ば／なんで／も／聞いて／て／くだ／さい。

二 次の各文の――線部に含まれる文節相互の関係を、あとのア～エより選び、記号で書きなさい。

山本君は、強豪野球チームの、ピッチャーでエースだ。キャッチボールの相手に、僕を選ぶわけがない。しかし、なんと僕に声をかけてくれた。正直、僕はうれしかった。僕は思わず、ガッツポーズをしていた。

- ア 主語・述語の関係
- イ 修飾・被修飾の関係
- ウ 並立の関係
- エ 補助の関係

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

三 次の――線部はそれぞれ、文中でどんな役割をもっているか。あとのア～エより選び、記号で書きなさい。

- 1 ねえ、わたしも いっしょに 遊びたいな。
 - ①
 - ②
 - ③
 - ④
- 2 雨が 降って いるので、 遊びに 行くのは 中止だ。
 - ①
 - ②
 - ③
- 3 僕は 彼を 疑った。 だが、 信じたいとも 思った。
 - ①
 - ②
 - ③
 - ④
 - ⑤
 - ⑥

- ア 主語
- イ 主部
- ウ 修飾語
- エ 修飾部
- オ 述語
- カ 述部
- キ 接続語
- ク 接続部
- ケ 独立語
- コ 独立部

四 次の――線部が直接かかっている一文節に〰線をつけなさい。

- ① せっかくなあなたのために買ったのに、どうして食べてくれないの。
- ② この町には、今ではもう失われた活気があった。

